

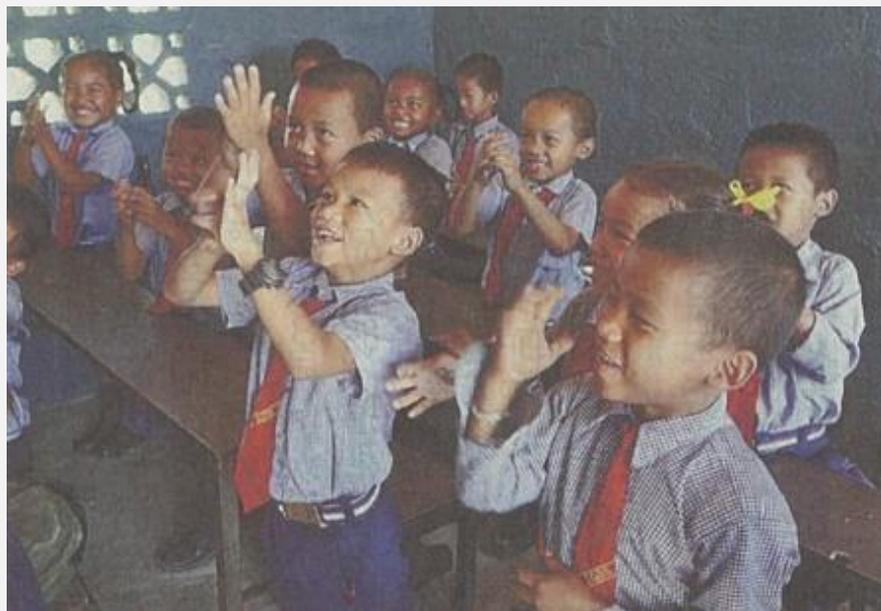
柳樂 大気さん（島根県出雲市出身）
2017年度1次隊 青年海外協力隊
派遣国：ネパール 職種：公衆衛生
2018年9月23日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

ごみの山歩き問題提起

「ナマステ!」。職場まで5分の通勤途中、何度このあいさつをするだろう。首都から車で西に6時間、夏は暑い、冬は霧深いと感じたらそこがわが任地ダマウリだ。ここで楽しい同僚、優しい近所の人に囲まれ、1日も暇することなく1年間を過ごした。ネパール人に間違われることもしばしば。われながらかなり順応しているなど感じる。



教室で手洗いの練習を楽しそうにする子どもたち

配属先はヴィヤス市役所。学校での手洗い指導、住

民への衛生教育を中心に公衆衛生の普及を行っている。数字としての成果は見えないが、子どもたちが楽しそうにせっけんで手を洗い、家族に話している姿を見るとうれしくなる。

もう一つ取り組んでいるのがごみ問題だ。街から見える雄大なヒマラヤ。しかし視線を足元に移すとそこは、ごみの山。中でも針付きの注射器が目についた。病院から一般ごみと一緒に捨てられたものだ。

ごみ集積場に通りそれらの写真を撮り、問題提起して理解者を増やした。他地域の視察、医療機関での聞き取りで、学ぶことも非常に多い。公衆衛生の幅広さを実感する日々である。

一緒に楽しむのも活動のうち。祭りに参加し、踊り、酒を飲んで語り合う。村の学校へはラグビーボールを抱えて行く。初めて見る^{だえん}楕円球を夢中で追う子たち…。こちらも随分楽しませてもらっている。残り任期で、どこまでその恩返しをできるか。これは一生の付き合いになりそうだ。一日でも長くこの国、この街の人に寄り添っていきたい。